

2020 年度入学試験問題 (第 1 回)

社 会

(30 分)

【注 意】

- ① この試験の問題文・設問は，1 ページから 6 ページに印刷されています。
- ② 問題は **1** と **2** があります。
- ③ 解答は必ず「解答用紙」のきめられたわくの中にはっきり書きなさい。

1 次の文章を読み、設問に答えなさい。

※なお、各資料は読みやすくなるように一部表現を変えています。

江戸時代、幕府・諸藩^{しよはん}の総人口の9割近くは農民でした。その後、明治時代に入ってから工業化が進み、工場で働く労働者など農業以外を主な仕事とする人びとが増えていきました。しかし日本が連合国から出された(1)を受け入れて太平洋戦争が終わった1945年の時点でも、働いている人びとの5割近くは農民でした。江戸時代の農民と比べ、近代日本の農民の多くはその暮らしを向上^{こうじょう}させることができたのでしょうか。

日本政府が1873年(明治6年)に実施した(2)は、江戸時代以来の農民による税の支払い方法を大きく変えるものでした。それまで収穫^{しゅうかく}した米の4割前後を米で納めていた農民は、所有する土地の価格に3%をかけた額を現金で納めることになりました。3%というと少なく感じますが、これは政府がそれまでの収入を安定的に確保するために行ったものであったため、農民の負担^{ふたん}が減ることはなく、とても重い負担でした。そして農産物の価格が下がり現金収入が減少した年でも税額が変わらないため、納税する余裕^{よゆう}のない農民が、土地を売って手放す、あるいは余裕のある農民などから借金する、といったことが増えました。借金をした農民は、期限までに借金を返済できないことも多く、その場合には自分の土地を、貸し手に取られてしまいました。このようにして土地を失った農民は、小作農(小作人)という、地主^{ぢぬし}から土地(小作地^{こさくち})を借りて耕作し、小作地からの収穫の約5～6割にあたる農産物を地主に小作料^{こさくりょう}として支払う、より立場の弱い農民に転落してしまいました。

① 小作農が増加する一方で、所有地を増やした地主はさらに豊かな大地主となっ
ていきました。両者の格差が拡大する中で小作農は、明治時代後期から、「小作
争議^{そうぎ}」という、地主に対して小作料の軽減^{けいげん}や凶作時の免除^{めんじよ}など、自分たちの状
況^{じょう}の改善を要求する運動を組織的に展開するようになりました。

1914年にヨーロッパでおき日本に好景気をまねいた(3)が1918年に終わ
り、1920年から農産物価格が下落すると、大正デモクラシーの風潮^{ふうちょう}もあって小
作争議の発生件数は増え、各地で本格的に展開されるようになりました。1920年

から1926年にかけて増加していった小作争議では、小作農は自分たちだけでなく周囲の人びとの協力を得て大規模な運動を展開することが多く、小作農側が勝利することも多くありました。^③

その後、小作争議の件数は一時的に減りましたが、1929年にアメリカではじまった不景気が世界各国に広まり、日本でも景気が悪化したことで再び小作争議が増加しました。しかしこの時期の小作争議では、多くが地主側の勝利に終わりました。小作農が社会主義運動と結びつくことをそれまで以上に警戒していた政府^④が弾圧を強化したことや、弾圧の中で小作農側の農民組合が分裂、弱体化、解散したことがその主な原因です。

このように1930年代には小作争議が急増しましたが、政府の側でも農林省の官僚などは日中戦争後に、小作農の状況の改善へ向けた経済政策を展開していきました。しかしそれらの政策では、広大な土地を所有する地主と、生活するのに十分な土地を持たない小作農という、問題の根元にある社会構造を解消することはできませんでした。

この構造を解消したのは、太平洋戦争の後に日本を占領した機関である(4)が主導した農地改革でした。この改革で(4)の指令を受けた日本政府は、地主から土地をととても安い価格で強制的に買い上げて小作農に売りわたしました。その結果、農民のほとんどは、十分な土地を獲得し、所有地を耕作するだけで生活が成り立つ自作農になりました。結局、戦前の日本政府は地主によって政治的・経済的に支えられていたこともあり、地主の土地を取り上げ小作農に分配するまでの改革はできず、外国人からなる(4)が日本の貧しい農民を経済的に救ったのでした。

問1 本文中の(1)～(4)にあてはまる語を答えなさい。

問2 下線部①について、明治時代に入り借金を返せずに自らの土地を手放して小作農になる農民が増加した理由を、本文を参考にして説明しなさい。

問3 下線部②について、この時期には小作農の小作争議の他にも社会的に弱い立場におかれた人びとが自主的に団結し、自分たちのおかれた状況の改善をめざす運動が活発に展開されていました。それに関連して、次の[資料1]と[資料2]に出てくる人びとが、どのようなことをめざして運動していたか、資料ごとにそれぞれ具体的に説明しなさい。

[資料1]



平塚らいてう(右はし)と
仲間の運動家

(日本文教出版『小学社会6年上』)

[資料2]



全国水平社の大会での
山田孝野次郎とその演説を
聴く人びと

(光村図書『社会6』)

問4 下線部③について、次の[資料3]は、1926年から北海道の富良野の^{ふらの}小作農たちが、^{おたる}小樽に住んでいた地主の^{いそ の すずむ}磯野進に対して行い、1927年に勝利した小作争議に関連したものです。本文を参考に、資料から読み取れる、富良野の小作農が勝利した原因を答えなさい。

[資料3]

1927年3月12日

磯野進さんへ

小樽の労働者会議より

決議

今回、あなたが所有している富良野の農場で耕作をする^{こさくにん}小作人が、富良野から遠くはなれた小樽までやってきて、あなたに小作料の^{けいげん}軽減・^{めんじょ}免除をお願いした件ですが、^{さくねん}昨年^{きょうさく}の凶作を考えれば、そのお願いは不当なものとは思えません。すぐに小作人のお願いを受け入れて、この争議を解決することをおすすめします。

もしあなたが解決に向けた誠意をしめさないのであれば、私たちは、あなたが取引している商品の陸上げを^{きよひ}拒否してストライキを行い、それと同時に北海道の他の労働者団体や農民組合といっしょになって、あなたが取りあつかう商品を買わない^{ふばい}不買運動をはじめます。

私たち小樽の労働者会議のメンバーは以上を決議しました。

倉田稔「不在地主—磯野小作争議 上」1998年

問5 下線部④について、政府が小作農側への弾圧を強化するときに適用した、政治や社会のしくみを変えようとする動きを取りしめる法律で、男性普通選挙が認められたのと同時期に制定されたものを何というか答えなさい。

問6 下線部⑤について、なぜ戦前の日本政府は、非常に豊かな地主と貧しい小作農という社会的格差を解消することができなかったのか、本文から読みとれることを答えなさい。

2 次の文章を読み、設問に答えなさい。

世界の科学者は、二酸化炭素のような温室効果ガスの排出が増えることで、大きな気候変動がおきる恐れがあると警告しています。その対策を考えるため、国際連合で「気候変動枠組み条約締約国会議」(COP)が1995年から毎年開かれています。

問1 国際連合の本部がおかれている場所はどこですか。以下の都市ア)～エ)から選びなさい。

ア) ブリュッセル イ) パリ ウ) ジュネーブ エ) ニューヨーク

問2 COPには、気候変動枠組み条約を結んだ日本も参加しています。日本が国際条約を結ぶとき、それを承認するのは国会の役目です。国会について定める日本国憲法の次の条文の(1)と(2)に適切な語を、語群ア)～オ)から選びなさい。

第四一条 国会は、(1)の最高機関であつて、国の唯一の(2)機関である。

<語群> ア) 立法 イ) 行政 ウ) 日本 エ) 国権 オ) 政府

問3 地球規模の気候変動は、人間社会にどんな影響をもたらすでしょうか。次の自然の変化1)～3)が進むことで、予想できる人間社会へのマイナスの影響を、ア)～オ)から一つずつ選びなさい。

- 1) 二酸化炭素が海に溶け込んで酸性化する。
- 2) 乾燥地域で干ばつが増える。
- 3) 極地の陸地にある氷河や氷床が解けて海面が上昇する。

- ア) 紫外線によって皮膚がんや白内障の患者が増える。
イ) 沿岸地域の高潮の被害が増える。
ウ) 化学物質で汚染された食品により健康被害が増える。
エ) 生態系の変化により、漁業や観光業に打撃がある。
オ) 水源をめぐる地域や国家間の緊張や対立が高まる。

問4 COPの議論の場で、先進国と途上国では立場が異なるため、意見がぶつかることも多いです。以下はそれぞれの代表的な意見です。(A)～(C)に最もあてはまる国や地域を、表1を参考にしてア)～オ)から一つずつ選びなさい。

途上国の主張 「これまで温暖化をひきおこした責任は先進国にある。
(A)にはこれから経済成長する権利がある。」

先進国の主張 「これまで途上国と扱われていても、(B)のように急速に経済発展できた国は、先進国と同じ役割を果たすべきだ。」

途上国の主張 「我々も対策に努めているのに、豊かでエネルギー消費量の高い生活をしている(C)が、温暖化対策の国際ルール『パリ協定』から抜けると発表したことはとても残念だ。」

ア) 中国 イ) アメリカ ウ) 日本 エ) ドイツ オ) アフリカ各国

表1 世界の二酸化炭素(CO₂)の排出量に占める各国の割合と一人あたり排出量 (2016年)

国や地域	国別排出量比(%)	一人あたりCO ₂ 排出量(t)
中国	28.0	6.6
アメリカ	15.0	14.9
日本	3.5	9.0
ドイツ	2.3	8.9
アフリカ各国合計	3.6	0.95

EDMC/エネルギー・経済統計要覧, 2019年

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>)

問5 水俣市や北九州市は、かつて公害に苦しんだことを教訓とし、現在は積極的に温暖化問題に取り組み、環境モデル都市になっています。この二つの都市の位置を右の地図のア～キから選び、それぞれの県名を答えなさい。



